



2025年度 札幌わかさ幼稚園 外部評価シート

札幌わかさ幼稚園 外部評価
2026年3月25日(水)
10:00~12:00

<わかくさの教育目標>

- ・失敗を恐れずものごとに取り組み、創造し最後までやりとげる意欲・態度・心情を培います。
- ・自分の考えを素直に表現できるよう、豊かな感性を培います。
- ・思いやりと奉仕の心を培います。
- ・健康な体を培います。

<地域の環境を活かす保育の重点目標>

遊びを通して、幼児期に育てておかなければならない生理的機能と心理的機能の育成を図る。そのため知能の多重性に関わる多様な体験を、園内外の環境を利用して保育し、本物に触れる事により「生きる力の基礎」を培う。(①生き生きと楽しく！②上手になるより好きになろう！)

評価の表示 A：十分達成されている B：達成されている
C：取り組んでいるが成果が十分でない D：取り組みが不十分である

1、わかくさの保育の5つの基本（生理的機能、心理的機能）

評 価 項 目		評価
①	年間・月・週・1日の保育計画が、文部科学省の定めた内容に即しているか	A
②	教育方針のもと、行事がバランス良く計画・実施されており、内容が子どもたちの成長に繋がっているか	B
③	教育方針のもと、おでかけがバランス良く計画・実施されており、子どもにとって魅力的なものになっているか	A
④	教育方針のもと、その他の活動(菜園、交流会、料理活動、保育参観等)が円滑に行われ、子どもや保護者にとって魅力的なものになっているか	B
<理由・備考欄> ①・どうしてもお誕生会が多い月には活動がいっぱいになることがある。特に年長児の活動が詰め込みぎみになることがあるため活動内容を見直すとよいと思う。 ②・行事や活動内容については、時期や学年によって差はあるが、あり方や内容、子どもたちの負担になっていないかを職員間で再度検討する必要がある。各担当の意見や実際に行ってみて感じたことを共有する時間が必要だと感じる。 ・各行事の目標と検証がきめ細かく行われている反面、若干行事に追われているようにも見受けられる。 ・バランスよく行事やおでかけがあり、子どもたちも楽しんでいる様子が見られている。また、活動が詰め込まれている時期はおでかけ		A

がよい発散になっていると感じるが、行事前に練習が詰め込まれてしまうところや自由遊びをあまりできないなど子どもたちへの負担にならないよう計画や時期の検討は必要だと感じる。

- ・おでかけ、行事が保護者と子どもにとってたくさんあり充実されていると感じる。
- ・参観や懇談については、参加状況や仕事をしている方が増えている近年の状況をみて、内容やありかたを考えていくべきと感じる。
(懇談の有無や、参観の週を設けて自由参観にするなど)
- ・行事は子どもにとって良い内容だと思う。発表会とお店屋さんごっこの時期が近いためこどもの負担にならないよう進め方に工夫が必要である。
- ・子どもたちの興味・関心に繋がるものが多く、行事によっては自由遊びの中で子どもたちが真似をして遊ぶ姿が見られた。(お店屋さんごっこなど)
- ・他園で働いたところがあると、フェスの時期が早いと感じる。他の行事や小学校の兼ね合いがあるため変更は難しそうだが、内容を検討するなどではできそう。
- ・機織りの時期がお店屋さんごっこと近く年長児にとっては負担が大きいと感じたため、来年度以降は検討していきたい。

③・熊出没が原因でお出かけが制限されてしまったことが残念だった。来年度も同じような心配があるため、安全を第一に、子どもたちの活動の制限がされない形を考えていきたい。

- ・今年度はクマの出没情報が多くあり、秋頃のおでかけができない状況だった。12月に入り、クマの出没情報が無い場所などにおでかけに行ったが数回の大事なおでかけの機会が無くなってしまった。子供の安全が第一なので、この結果で良かったと思うが、来年以降も同じ状況が続くようなら今後の対応を考えていく必要があると感じている。
- ・おでかけでは今年度熊出没により変更や中止があった。来年度以降も場所を検討し安全に行っていく。
- ・おでかけは、季節によってバランス良く計画されており、四季を感じられる魅力的なものになっていると思う。また、他の園に比べて、お出かけの回数が多く、子どもにとって野外で活動する機会が沢山あることも素敵だと思う。

④・施設交流会など、普段は中々関わることがない人たちとの交流を経て、人前で発表する、相手を想い心を込めて製作するといった経験を積む良い機会になっていると感じる。

- ・懇談会の需要があまりないように感じるため、他園での取り組み方や、保護者の方の率直な意見等を取り入れて改善していく必要がある。
- ・保育参観について、各クラス、学年の様子に合わせて例年と内容変更、検討しても良いと感じる。また、懇談会については、参加人数も年々減っており、あり方について検討していく必要がある。
- ・野菜の収穫はとても良い体験になっている。
- ・保育参観では、保護者が就労されている方も多く欠席する方も増えているように感じる。その方には振替を行っているが人数も多い為、

参観日を複数日設ける等対応を変更しても良いのではないかと感じる。参観日・懇談については検討していきたい。自由参観の週を設けたり、懇談の開催場所を3階ではなくホールで行う等、保育参観のあり方を再度検討し、行っていきたい。	
＜外部評価 ご意見＞ ・参観懇談について懇談の参加家庭が限られており、いつも参加してくださる方が同じになっている印象。懇談の中で、一言求められることが嫌で参加しない家庭がいる可能性もある。しかし、参観したい家庭がいるのも事実ではあるが、他の参加方法も出来たらとは感じる。わかくさらしい懇談ではあるため、なくしてはほしくない。 ・参観懇談の需要があるかについて、職員間でも議題にはなっている。 ・他園では、午前保育で参観を行い、参観後そのままその場で子どもと一緒に懇談を行っていた。帰るタイミング等がなくそのまま参加する形になっていた。懇談の出欠有無があると、参加しなくていいかと思ってしまう可能性もある。懇談は子どもが一緒に、話している親の子どもの顔がわかるため、園での子どもの様子がわかってよかった。→今後、参観懇談の方法等を職員一同で考えてまいります。 ・保護者にとって魅力的な参観懇談になっているかは小学校でも課題となっている。保護者との連携や協力や理解を図る大切な機会なので、重点すべき点だと思う。→園でもどのような参観懇談が良いかを考えて、次年度に生かしていきたいと思います。	

2、健康面、安全面、衛生面について

評 価 項 目		評価
①	事故や災害、防犯に備えた危機管理マニュアルが作成され、職員の理解のもと活用されているか	B
②	法定の学校安全計画や防災計画などの作成・実施がされているか	A
③	園内外の安全点検や整備が、定期的・日常的に行われているか	A
④	幼稚園バスの事故防止についてのマニュアルが守られ、安全に運行されているか	A
⑤	園内の施設・遊具・図書が有効に活用され、また、衛生面においても整備されているか	B
＜理由・備考欄＞ ①・防犯対策に完璧はないため、常に全職員が防犯について意識を持ち続けることが大切。 ・事故や防犯に関しては、避難訓練を経て、自分自身がうまく活用できていないことや、不安な部分があったため、職員間での共通理解をもっと深めていきたいと思った。 ・マニュアルに基づき適切に実施できている。 ・最新情報をしっかりマニュアルに反映されているが、その一方でマニュアル内容が多くなり様々な対応が求められる中で職員の理解を求めることが今後は力を入れていく必要がある。 ・相互牽制、声掛け等のコミュニケーションが重要。		A

- ②・避難訓練を実施していることにより、実際に地震が起きた際に保育者も子どもたちも落ち着いて対応することができていた。
- ・防災計画や安全計画など、細かく作成できたと感じている。避難訓練を通して、実際に災害が起こった際にどのように動けばよいかなどを職員自身も考える良い機会となったように感じているため、今後もしっかり行っていきたい。また、不審者訓練で警察からよく考えていると話があったため、今度も検討や共有していきたい。
 - ・マニュアルの内容が日々増えてきているため、理解を深めていく必要があると感じている。
 - ・園内外の破損箇所をそのままにせず保育者も点検や危険箇所等の把握ができ、対処している。
 - ・今年度備蓄食を増やしたり保管場所について再検討したい。また防災ずきん等を準備している園もあった。防災意識を持てるよう考えていく必要がある。(みんながわかる場所に置いておく必要あり)
- ③・園内外の安全点検については、意識して行われていると思う。古くなったものや、追加で必要になってくるものなど気づいた職員が共有し対応している。引き続き、危険な箇所等は共有し、素早く対応していきたい。
- ・防災計画が作成実施され避難訓練等ができ対処できている
 - ・バスの先生を中心に園庭など安全点検がされているように感じる。バスの先生だけでなく、職員全員で確認等していけるように意識する。
 - ・園庭の遊具が新しくなり、ルールを保育者間で話し合い子どもにとって良いものとなっている。各開放担当が点検はしているが汚れていたり、片付けが終わっていないままに放置されていることがある。子どもの安全や心の安定のためにも整理整頓を徹底していく。
- ④・バス添乗の際の方法等、研修の中で職員間で共有することができた。その都度、気になったことは職員間で共有していけるよう継続したい。
- ・特にバスについてはニュースであった事故を受け、特にダブルチェックなどをしつつ防止に努めている。
- ⑤・園庭の滑り台や乗り物の玩具の購入により園庭の雰囲気が新しくなり、これまで以上に園児が自由な発想のもと遊びを展開できるようになった。今後も安全に遊びこめるよう配慮していきたい。
- ・今年度は遊具が増え、とても充実していたと感じる。園の中の充実性を意識し、保育を発展させていきたい。
 - ・遊具も新調され、その際には安全面について職員間で検討して子どもたちに指導することができた。今後も安全について子どもたちに伝えていく。
 - ・今年度、遊具や図書コーナーを新調したことにより、一層子どもの興味や関心を引くものとなったと思う。自由遊びではとても有効に活用され、衛生面においても綺麗に保てるよう清掃を行っている。
 - ・図書コーナーを新しくしたことで子どもたちが以前より落ち着いて図書コーナーを利用できているように感じる。

・図書コーナーを保育者間で話し合い、協力して作ることで子どもにとって良い環境になった。 ・図書委員の保護者の方々ののおかげで絵本がきれいに管理されている。絵本サークルの方々ののおかげで絵本にもたくさん触れ合っていると感じているため、感謝している。 ・衛生面については、まだまだ意識していかななくてはならない場所はあると思う。保育後の清掃や一人一人が子どもたちの過ごす場所として意識していきたい。1週間の中で掃除する場所を決めて掃除していき、衛生面を保ちたい。 ・安全運転に心がけているが事故等が起きた際運転手、添乗者がマニュアルに基づき二重確認等を実施している。 ・各クラスの水道やトイレ、おもちゃの汚れか気になる。建物が古いため、汚れが沈着するのは仕方がないが、衛生面を考え、掃除を徹底していく。 ・遊具の遊び方を改めて確認する。 ・園庭の後片付け、見回りを徹底していく。	
＜外部評価 ご意見＞ ・避難訓練もしっかり行っており、子どもたちも真剣に参加してくれていることが伝わる。 ・バスの件に関しても、研修で職員間で確認していることに安心した。 ・図書コーナーが新しくなり、すごいと感じている。せっかくならもっと活用し、子どもたちが本に触れる機会が多いと嬉しい。PTA の図書貸出を毎週していた時期もあるが、現実的に難しい。 ・子どもが読みたい本と大人が読みたい本が違うため、各クラスで選んだ本を他のクラスへ回してみる等の工夫する余地がありそうと感じる。 ・年少児は文字が読めないため、読んであげることが必要。家庭では読んであげることができても、園では職員も忙しいこともあり、ポケモン等読みがちになるのか。→園でも図書コーナーをもっと活用できるよう保育を工夫してまいります。 ・安全に向けて細心の配慮をされていることが分かった。 ・バス置き去り事故を受けて職員研修を実施されたという危機管理対応が素晴らしいと感じた。	

3、組織運営について

評 価 項 目	評価
① 教育目標達成に向けて、園長を中心に組織のリーダーシップ、マネージメントシップ、メンバーズシップが機能しているか	B
② 共通の目標・理解のもと園を運営していくために、職員間で連携・協力体制ができているか	B
③ 職務分掌が適切に機能し、保護者に情報(園だより等)が提供されているか	A
④ 保護者から提供されている個人情報(が、適切に管理され、守秘義務が守られているか	A

⑤	毎日の朝礼、終会、運営委員会、職員会議が実施され、情報交流が行われているか	A
⑥	園の財務運営状況、勤務時間状況、服務状況についての共通理解、各種法令が遵守されているか	A
<理由・備考欄> ②・会議や終会の中で、子どもたちの様子や保育のことを全体で共有しながら話していくことができ、クラス・学年関係なく連携を取りながら保育していくことができていると感じる。 ・日々職員間で情報共有がされているように感じる ・各種問題解決のための前向きな話し合い、工夫、取り組みがなされていると思料。 ・協力体制は抜群だと思うが、やってもらうのが当たり前にならないよう自分の仕事を見直し気を付けていく。来年度は全体的に保育経験が長い保育者が多くなるため、全体把握能力や連携、個人の保育力のレベルを上げよりよい保育を目指していく。 ③・レーザーキッズに移行したことで、細かい情報を保護者に伝えることがスムーズになったように感じ、急を要する情報(クマ出没・災害)や感染症の注意喚起、休園のお知らせ等、変更をしっかりと伝えられているように感じる。 ・毎月の園だよりやカレンダーの配布によって保護者が行事や活動を把握でき、持ち物なども二重で伝えることができていると感じる。 ④・個人情報については、職員間で適切に管理され、守秘義務もしっかり守られている。 ⑤・毎日の終会にて情報共有をできていると感じる。子どもの成長面や気になる点を都度共有し、よりよい関わりを意識していきたい。 ・朝礼や終会によって、子どもたちの情報や各クラスで起きたこと、職員間で共通認識してほしいことを職員間で共有することができた。保育に生かされていると感じている。引き続き共有して、園全体で子どもを見る環境を作っていきたい。 ・パートやその場にいない保育者に情報が届いていないことが多々あった。各自打ち合わせノートの確認と担当は漏れがないか注意していく。 ⑥・勤務時間は、法令は守られていると思うが、時間外労働が多くなってしまうこともある。 ・財務状況等については十分な理解がされていないと思う。 ・仕事内容では必要な部分、簡略化できる部分を再度見直していきたい。		A
<外部評価 ご意見> ・職員間で情報共有がしっかりされていることがわかり、安心した。職員の仲が良い姿に安心して預けることができている。 ・レーザーキッズが保護者間でも好印象。打刻時間が見れたり、カレンダーでその日の持ち物が見れて便利だった。 ・紙媒体を減らしていけたらと考える。PTAの手紙も用紙等でお金がかかっていると感じたため、節約を考えると一枚手紙を印刷しアプ		

りで配信すると便利と感じたが、職員への負担もあるため徐々に移行していてもよいのではないかと思います。出先ではアプリに情報があるとプリントをなくさず見れるため、カレンダー等がアプリにあると見やすいと感じる。 ・名前が載るものに関してはデジタルにしていいいものなのか検討する必要がある。→レーザーキッズを使い、手紙や行事の出欠確認などをしていけるよう今後も対応を考えてまいります。レーザーキッズが好評でよかったと感じています。	
---	--

4、保護者・地域とのかかわり

評 価 項 目		評価
①	保護者と信頼関係を築き、幼稚園運営への理解及び協力を得られているか	A
②	地域の自然や文化財、施設等を有効活用できているか	A
③	地域の小学校や保育所と連携をとっているか	B
④	地域に向けて、園の情報を発信・提供でき、関わりを持つことができているか	B
<理由・備考欄> ①・子どもの育ちについて保護者の方と共有することで、幼稚園に対する理解を得ているように感じている。 ・園としては適切に行われていると思うが、信頼関係が築けるよう、これからも関わりをもつよう心掛ける。 ・話しやすい関係が築けていると思う。 ②・フォーシーズンさんとの交流はとても良いものになったと感じている。来年度以降も続けていけたらと感じている。 ・クラスおでかけで科学館などの施設に行く機会が多くあると感じるが、場所が固定されやすく様々な候補を検討していく必要があると思う。 ・小学校や保育所とは、入園や転園、入学等で子どもの様子や気にかけてほしいこと、良いところを伝え合い、連携が取れている。 ・おでかけやお泊り会などでは、公園以外の施設にも行くことができ子どもたちが楽しむ姿が見られた。 ・おでかけなどで地域の環境を活用できていると感じる。 ③・小学校との交流会は今年度は回数が少なかったが、子どもたちや職員にとって貴重な経験をさせてもらっていると感じる。保育所との連携はないが、老人ホームやデイサービスとの関わりはあるため、活かしていきたい。 ・小学校交流会も行うことができおり、子どもたちの成長の良い機会になっていると感じる。 ・近隣の小学校との連携が今年はあまりうまく進まなかったことが残念。幼保小連携会議等を通して小学校や保育園と話し合う機会があるため、具体的に交流会の日程や内容を決められるよう来年度は動きたい。小学校との交流会は今年度の反省を踏まえ、小学校とすでに来年度の日程を組んでいる。また、会議等でもしっかり話し合い、交流できるようにしていく。		B

・小学校だけではなく、中学校とも交流できこどもにとって良い活動になったと思う。園外との交流では写真や情報管理に気を付ける必要がある。 ・保護者、地域の小学校、保育所との連携は取れていると思う。 ④・わかき幼稚園を知らない人の目に情報がいきわたることを意識して、園のPRについて改善中である。Instagramなどを活用しながら運用していく準備を進めているため、今の時代に即したPRや園が求められることを意識しながら改善策を探っていききたい。 ・園児募集等の貼り紙は掲載しているが、常時掲載できるような看板のようなものと園児募集に繋がるように感じる。職員間のアイデアを活かして園児の獲得を行っていききたい。 ・地域の方に向けた情報発信がなかなか難しかったと感じている。来年度以降はインスタを活用し、自園の良いところを発信していけるよう心掛けていく。 ・入園児が少なくなっているため、工夫していく必要があると思う。 ・ブログやInstagramの開設等も動き出しており、今後はより園の情報を提供していけるようになると思う。 ・園児募集のポスターが内容がわかりづらいため、内容やデザインを変える。ぱっと見でわかきと伝わったり良さが伝わるようにする。	
<外部評価 ご意見> ・幼保小連携については、小学校としてもより計画的で充実した交流の機会を設けさせていただき、子ども同士の関わりのベースや思いやりの心を育んでいただきたいと考えている。 ・入園数が少ないことに関して、子どもが少なく園児数が少ないのが課題。知名度を上げていきたい。 ・Instagramは見てみたい。 ・グーグルマップで保護者から意見を書き込んでもらうことができたという意見も以前いただいた。→今後、Instagramの利用や保護者の方に協力していただき、知名度をあげて、園児獲得に繋げていけたらと考えています。	

5、子育て支援・預かり保育について

評 価 項 目	評価
① 他の専門機関と連携を取り、地域に密着した体制をとっているか	B
② 預かり保育に関して、保護者の実情や要望に応じて対応できているか	A
③ 未就園児教室が教育方針のもと、計画・実施され、入園前の保護者と子どもが交流できる場になっているか	A

<理由・備考欄> ①・子育て支援という観点で、専門機関との関係は薄いと感じる。支援が必要であるお子さんを専門機関に繋げる仕組みを知っていく必要がある。研修などを通して職員で知る工夫をしていきたい。 ・デイサービス見学を通して、専門機関と連携が取れるようになってきたと感じる。 ・デイサービスの見学で園とは違うこどもの様子を見ることができた。また、関わり方を学ぶことができこれからの保育に活かすことができた。必要に応じてデイサービスの方に園に見学に来てもらうのも良いと思う。 ・未就園児教室は、充実した内容であり、次年度以降の園児募集にも寄与している。 ②・仕事だけでなくリフレッシュのために預かり保育を利用できるよう柔軟に対応していると感じる。 ・預かり保育の人数が多い時は、職員全体で協力できる体制をとっている、今後も継続していきたい。 ③・少子化の加速により、園児の集まりが十分ではないため、PR強化を図りたい。 ・未就園児教室の中で在園児の活動に似た内容(お出かけや料理活動など)を行うことで、園の活動を保護者も知ることができ、子どもたちも楽しんで参加しているように感じる。 ・未就園児教室は園児数を獲得できず苦戦している。お出かけ先などでも色々な方に声をかけてアピールする必要があると感じている。未就園児教室自体は楽しんで参加してくださっているように感じている。今後も楽しい活動ができるよう工夫をしていきたい。 ・預かり専任の先生がいることや、長期期間の預かり保育を実施していることもあり、保護者の要望に応じた対応が出来ていると思う。	A
<外部評価 ご意見> ・預かりの専任がいることが魅力的。小学校、児童会館とは違く、どんな時も預かり保育が利用できることが有難い。	

6、園内評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果、今後の課題

総合評価	総合的な評価項目
A	・職員全員で協力体制を整えながら進めることができた。園での活動を保護者に理解いただきながら、進めることができた。 ・概ね達成されているが、入園希望者が少ないことが気がかりである。 ・研修などを通して、職員同士で保育について語る機会があり、たくさん意見が飛び交っていて良いことだと感じる。 配慮児への対応については研修などでも取り入れ、今後もより良い保育をしていけるようみんなで協力していけたらと思う。 ・概ね達成していると感じる。引き続き意識していきたい点もあるため、職員間で共有し来年度に活かしていきたい。 ・職員で連携をとり、子どもにあった保育を全員で考えながら運営出来ていたように思う。また情報共有もクラス、学年関係なく盛んに行われていたように感じ、多方面から子どもを見ることができたと感じる。

- ・職員間で協力しながら、子どもたちがより良い園生活を過ごせるよう、保育が出来ていたと思う。様々な活動を通して、子どもたちが楽しいことや好きなことを増やしていけるよう、今後も各項目の内容を理解し、行動していきたい。
- ・安全運行を引き続き実施して、無事故・無違反を継続する。
- ・より良い幼稚園になるための伸びしろは無限にあることを肝に銘じる。
- ・職員間で連携や共有することができていたように感じる。引き続き、職員間で話しやすい環境や園全体で対応を考えられる環境を継続して作れたらと思う。また、外部との連携を取ることも多かったように感じるが、共有することで対応がスムーズだったように感じる。
- ・わかくさは胸を張ることができる幼稚園だと思う。より良い保育ができるよう向上心を忘れずに精進していきたい。

＜今後の具体的な課題と改善策＞

- ・今年度は公開保育を通して、保育について職員一同で考え、それぞれのポジションで頑張り、わかくさの良さを発表できたのではないかと感じている。今後も外部の研修に参加し、保育のスキルアップにつなげていきたい。
- ・行事に関しては、あり方や内容を再度見直していく必要がある。保護者のニーズや職員の体制等を考慮して職員間で検討していきたい。
- ・支援が必要な子やデイサービスに繋がっていきたいお子さんを専門機関に繋がっていく仕組みをしっかりと理解し、一人ひとりにとって必要な保育と支援を行っていきけるよう知識を深めていきたい。研修等を通じて学んでいきたい。
- ・配慮が必要な子どもも増えている為専門機関と連携し情報を集め、どのように関わっていくのかを職員間で共有していく必要があるように思う。
- ・入園希望者が今後も少ないことが予想される。インスタグラムの活用を通して幼稚園を広めていけるよう力を入れていきたい。
- ・園の情報共有については、様々な職員のアイデアを活かして地域に広めていき、園児募集に繋がっていききたい。
- ・地域のスーパーや児童会館へのポスター掲示やホームページを使い園の情報を発信していったが、なかなか入園する人数は増えなかった。今後は SNS を使うなど時代にならった発信の仕方をしていくため、保護者の目に留まりやすいものはどんなものなのかを考えていく必要があると思う。
- ・不審者対策や避難訓練はそれぞれがどのように動けばよいかを考えながら動くことができていた。今後も色々な場面での状況を考えながら行っていきたい。
- ・事故や災害、防犯に備えた危機管理マニュアルについて、職員会議や職員研修で改めて確認を行い、職員で共通認識ができるようにしていきたい。
- ・冬道の経路について予備経路、バス停車位置の複数選定が必要。
- ・園の PR 強化を図る。
- ・園児募集が課題になっていると感じる。インスタグラムの開設やホームページのリニューアルを通して、多くの人に知ってもらう必要がある。
その更新や投稿についても職員間でどのように行っていくのかを細かく決めていく必要がある。
- ・安全管理について、完璧ということはないので点検や整備等は危険予測して意識を高めていく。
- ・園内の安全点検や整理整頓がされていないところが見られ気になった。保護者から受け取ったものや返却されたもの等は責任を持って片付ける等、職員一人一人が意識していくことを徹底していきたい。
- ・レーザーキッズを導入した上での簡略化できる部分を再度検討していくべきと感じた。(バス、クラスボードについてなど)
- ・園としては計画通り進めていると思うが、入職し1カ月半程なので、園全体のことや仕事内容を理解できていない。まだ気づけていないことが多々あるので

一つ一つ仕事を覚えて来年度に繋げていきたい。

- ・保育者の経験年数が上がっているため、より良い保育を目指し連携のレベルを上げていきたい。これでいいかをなくしていきたい。
- ・園だよりやカレンダーなどの配布物をレーザーキッズで配布できるようになると配布物準備の時間が少なくなり保育者の負担が減るのではないかと。チラシも物が多いため本当に必要か見直し、レーザーキッズのスキャンで配布できるものはスキャンでも良いと思う。スキャンで対応できるかを検討して対応していく。
- ・洗濯ものを持ち帰るビニール袋を持ってこない家庭や小さい袋で持ち帰りが難しいことが多い。持ち帰る紙に補充してほしいことを書いたり、個別にお願いするようにしているが改善が見られない。時代がエコバックになり家庭に袋がなかったり、共働き家庭が増え忙しく細かいところに気が回りにくいことが背景にあるように感じる。袋が準備されていないことで、保育者が袋の準備するにも袋が少なくて時間がかかることがある。次年度は家庭に袋を持ってきてもらうのをやめ、園でビニール袋用意するか家庭に持ってきてもらえるようどうしたらよいか考えていきたい。→各家庭に袋を1袋・50枚入りなどを着替え袋に入れてきてもらえるよう声掛けをする。
- ・レーザーキッズを活用し、カレンダー等が保護者の方が使いやすいものにしていけるよう今後、検討していく必要がある。アプリ内でも行事の出欠等の返信ができるよう検討していく。
- ・働きやすい環境にするため、付箋やペンなど使用したものは元の場所に戻すことや使い切ったら補充することを職員一人一人が徹底していき、保護者が一番出入りする玄関を綺麗にしていきたい。

<外部評価 ご意見>

- ・通園時の様子や幼稚園の様子を見て、楽しく過ごしていると感じている。これからも園長を筆頭に藻岩下の宝である子どもたちが元気に心豊かに育ってくれるようにご活躍されることを期待している。
- ・安心安全な教育活動の実践に向けて職員の意識の高さに感銘。掲げられた改善点が実践されることを期待。
- ・子どもが園を楽しんでいることがわかり、職員の頑張りをを感じる。縦割り保育の良さを凄く感じる。特に今年の年長児が寄り添ってくれていたのが、嬉しかった。
- ・様々なことに柔軟に対応してくれて有難かった。
- ・わかくさで卒園したことがこれから生きてくと思う。役員もさせてもらって楽しかった。
- ・3階にエアコンがつくのか心配。3階が使えるのか。→令和8年度になってからではないと行動に移せない。役員会等で随時クーラー設置時期等を伝えていきたい。
- ・3階の畳がボサボサで怪我が起きてしまわないか心配なので、絨毯を敷いたりする等の対応が必要。→防災上絨毯が敷けないが、今後直す等の対応をしてみたい。
- ・卒園式の保護者の座席が不足していた話が、保護者間で話題になった。→職員会議でも反省が出ました。保護者にどうアナウンスしていくかが難しいところではあります。兄弟が多く参加してくれていたこともあり、今回は予想を超えてしまう人数が集まりました。抽選だと人数制限などまた別の課題があり、園の会場の規模もあるため、悩んでいるところではあります。今後検討してまいります。
- ・他園は開場時間が決まっており、並んでいる。→卒園式での座席については今年度の反省を生かし、園で検討してまいります。
- ・卒園後の預かり料金の支払いが毎日払うことやお金を丁度用意することが難しいと保護者間で意見が出ていた。最終日にまとめて支払うか、週ごとに支払いにでき

たら楽かと思う。→2, 3月は引き落としにはせず、預かり使用状況に応じた支払方法(毎日支払い・まとめて支払い等)にすると良いのでは？今後検討してまいります。

2025年度 学校法人淳心学園 札幌わかさ幼稚園 学校評価

＜園内評価＞ 日時:2026年3月19日(木)10:00～12:00

参加者:(園長)関 亜美 (教頭・進行)若狭 実香 (副主任・記録)三澤 知香 (副主任)高橋 真慧

(教諭)阿部 倖子・村 香菜美・駒澤 美紀・福原 未羽・小部 和夏・佐藤 亜由子 (事務)鶴岡 美樹・井越 郁子・横路 愛・北山 友紀子

(技術員)上村 一則・関戸 乾輔

計:16名

＜外部評価＞ ※2025年度の外部評価会議は、外部評価委員の方々にご意見をいただきました。

ご意見を頂戴した外部評価委員の方々:

(南小学校校長)清水 由美 様(書面参加) (藻岩下まちづくりセンター所長)堀川 政司 様(書面参加)

(PTA 会長)小林 春菜様

(評議委員)遠藤 摩耶 様

計:4名

